

Plan

事業名	健康づくり推進事業			事業類型	法定(裁量含む)	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		事業1	130	事業2	241
担当部署	部	健康福祉部			課	健康増進課			
総合計画体系	めざすまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち			基本計画	2-①健康づくりに取り組む			
事業の目的	健康増進法に基づき、市民の健康づくりのため、地区活動の活性化と地域の活性化をすすめる。								
事業の概要	保健推進委員を委嘱し、健康づくりの担い手となるとともに、住民と行政のパイプ役として活動をする。健康増進計画「健康こさい21」の推進のための事業を実施。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		保健推進委員(70人)を委嘱し、健康づくりの研修を実施。各地区(9カ所)で健康づくりを推進。心の健康づくりや自殺予防対策のキャンペーンを市内5カ所で行うとともに、イベントに参加。こころの体温計システムによるメンタルチェックを市民が気軽にできるよう、早期相談の勧奨。(システム利用延回数 14,367アクセス)健康マイレージ事業による市民の健康づくりに関する意識の啓発・普及の実施(参加実人数825人、延2,359人)。	財源内訳	国庫支出金	0
		県支出金	134	128	128
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	3,051	2,924	2,924

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		保健推進委員による市民の健康意識が高揚した人数(人)		2,122	2,500	2,179
事業の評価	判定		判定理由			
	必要性	A	市民が健康づくりに取り組みやすい事業である。			
	有効性	A	健康づくりの意識普及の目標達成に有効な事業である。			
	効率性	A	行政とのパイプ役として効率のよい事業展開ができる体制となっている。			
総合評価	A		市内全域に健康づくりを積極的に推進している。			

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	市内全域への健康づくりの意識普及・啓蒙活動が必要。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	保健推進委員の委嘱と育成のための研修及び各地区活動での健康づくりの推進。この健康づくり事業の実施。健康マイレージ事業の実施。	保健推進委員の委嘱と育成のための研修及び各地区活動での健康づくりの推進。この健康づくり事業の実施。健康マイレージ事業の実施。	保健推進委員の委嘱と育成のための研修及び各地区活動での健康づくりの推進。この健康づくり事業の実施。健康マイレージ事業の実施。
事業費(千円)	6,843		

Plan

事業名	食育推進事業			事業類型	法定(裁量含む)	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目		事業1	130	事業2	244
担当部署	部	健康福祉部			課	健康増進課			
総合計画体系	めざまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち			基本計画	2-①健康づくりに取り組む			
事業の目的	食育基本法に基づき、栄養及び食生活改善並びに健康増進に関する知識の普及を図り、健全な食生活の実践ができる。								
事業の概要	食育推進連絡会の開催。食育推進計画の推進。 健康づくり食生活推進員の育成と事業委託。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		当初予算額	決算額		
	年2回食育推進連絡会の開催。 食育推進員(95人)による各地区での食育事業の実施。(延参加人数 871人) 食育推進員の養成講座を9回コースで開催。(実人数 13人)		事業費(千円)	902	884	
			財源内訳	国庫支出金	0	0
				県支出金	0	0
				市債	0	0
				その他	0	0
一般財源	902	884				

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	食育推進員による食育の知識を得た人数(人)			865	1,100	871	1,000
事業の評価	判定		判定理由				
	必要性	A	市民が食育に取り組みやすい事業である。				
	有効性	A	食育に関する意識普及の目標達成に有効な事業である。				
	効率性	A	行政とのパイプ役として効率のよい事業展開ができる体制となっている。				
	総合評価	<b>A</b>	市内全域に食育を推進できている。				

Action

今後の方針		内容
事業費	維持	市内全域への食育に関する普及・啓蒙活動が必要。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	食育推進連絡会の開催。 各地区での食育推進事業の実施。	食育推進連絡会の開催。 各地区での食育推進事業の実施。	食育推進連絡会の開催。 各地区での食育推進事業の実施。
事業費(千円)	2,553		

Plan

事業名	歯科保健指導・訪問事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	1項		2目	事業1	134	事業2	258
担当部署	部	健康福祉部			課	健康増進課			
総合計画体系	めざすまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち			基本計画	2-①健康づくりに取り組む			
事業の目的	健康な生活を送るために、口腔衛生の知識の向上、歯科疾患の予防を行う。								
事業の概要	乳幼児、幼稚園や保育園、小中学校の生徒に対し、歯科衛生による保健指導を実施。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		当初予算額	決算額		
	フッ化物洗口(延)10,570人 幼稚園や保育園、小学校における歯科指導 1,905人		事業費(千円)	2,507	2,295	
			財源内訳	国庫支出金	0	0
				県支出金	0	0
				市債	0	0
				その他	0	0
一般財源	2,507	2,295				

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	むし歯のある3歳児の割合(%)			12.9	12.5	12.4	12.0
事業の評価	判定		判定理由				
	必要性	A	園児が継続的にフッ化物洗口を行うことで、むし歯になりにくい歯をつくることができている。				
	有効性	A	成果目標を達成している。				
	効率性	B	歯科医院で定期的にフッ素塗布を行っている対象者がどのくらいいるのかなど、効率性を上げるための情報集をしていく必要がある。				
総合評価	A		ブラッシング指導、フッ化物洗口によるむし歯予防の効果はあり、事業を継続していく必要がある。				

Action

今後の方針		内容
事業費	維持	歯科保健指導事業によりむし歯予防を続けることは、医療費の削減にもつながるため、事業を継続していく。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	乳幼児の育児相談、フッ化物洗口、幼稚園や保育園、小学校における歯科指導、の実施。	乳幼児の育児相談、フッ化物洗口、幼稚園や保育園、小学校における歯科指導、の実施。	乳幼児の育児相談、フッ化物洗口、幼稚園や保育園、小学校における歯科指導、の実施。
事業費(千円)	7,401		